プレス資料

Toulouse, Terre de rugby

ラグビーの地 トゥールーズ



トゥールーズ観光局
#VISITEZTOULOUSE

Toulouse

www.toulouse-tourisme.com

ご挨拶

AVANT-PROPOS



© Rémi Deligeon

日本はトゥールーズにとってたいへん大事な国です！

トゥールーズは科学とイノベーションの都、ラグビーの地、ヨーロッパおよびフランス国内のラグビーでは最も多くのタイトルを持つ都市です。そしてラグビー日本代表ブレイブ・ブロッサムズのベースキャンプをお迎えできることを誇りに思います。

トゥールーズでは、ブレイブ・ブロッサムズの面々はサポーターや友だちやファンに囲まれて、ホームグラウンドにいるかのように感じるでしょう。ここはフランス有数の豊かでインスピレーションの湧く環境です。日本代表チームはトゥールーズで２試合に臨む予定です！その折には遠方から多くのサポーターが観戦と応援に駆けつけ、お祭り気分で盛り上がることでしょう！

トゥールーズで大事なのはスポーツ、文化、グルメ、そして人生を楽しむこと。トゥールーズと日本は学術、研究、各種産業など多くの分野で協力関係にあり、日本の皆さんとは本当にたくさんの共通点があります！

ラグビーというすばらしいスポーツ、日本も卓越しているこのスポーツのおかげで深まるのは人間同士の絆です。

ともに過ごす時が今から本当に楽しみです！

トゥールーズ・メトロポール
副議長　ジャン=クロード・ダルドレ

トゥールーズの歴史地区の街並み
© Rémi Deligeon

目次
Table des matières

4 トゥールーズにおけるラグビーの歴史

5 楕円球の誕生

5 地元が誇るラグビークラブ

5 エルネスト・ワロン・スタジアム

6 一年中がラグビーシーズンの街

6 エルネスト・ワロン スタジアム見学コース

7 ラグビーイベント

8 トゥールーズ流第３ハーフとは

9 ラグビー選手の経営店

10 ショッピング

11 トゥールーズとラグビーワールドカップ2023年大会

11 試合会場スタジアム・ド・トゥールーズ

11 ラグビーの殿堂エルネスト・ワロンが日本代表のベースキャンプに

12 日本からのサポーター受入れ

13 トゥールーズに来たらしたいこと

13 親しみやすいトゥールーズの食

14 驚くべき歴史遺産

15 活気あふれるハイテクの町

16 トゥールーズ、水と自然の街

17 トゥールーズを拠点に魅力あふれる地方巡り

18 ラグビー選手が語るトゥールーズの魅力

19 トゥールーズ観光局の日本語対応

Toulouse



トゥールーズ市庁舎、名士の間 © Rémi Deligeon

プレス資料

トゥールーズにおけるラグビーの歴史

L'Histoire du rugby à Toulouse



スタッド・トゥールーザンの試合に湧く観客席
© Rémi Deligeon - Agence d'Attractivité Toulouse

スタッド・トゥールーザンStade Toulousainはヨーロッパで最多のタイトルを有するチームです。フランス選手権トップ14（TOP 14）で21回、ヨーロピアンチャンピオンズカップ（H-Cup）で5回優勝しています。

チームが黄金期を迎えるのは1990年代のこと。そのユニフォームの色から「赤と黒の男たち」と呼ばれるスタッド・トゥールーザンはフランス選手権4連覇、1996年にはヨーロピアンチャンピオンズカップで初優勝。伝説の快進撃は続き、2021年には再びフランスチャンピオンとヨーロッパチャンピオンのダブルタイトルに輝きます。ラグビーフランス代表には最も多くの選手を輩出しており、また世界の名選手がこのチームに集まります。

トゥールーズ豆知識

スタッド・トゥールーザンの選手には、そのユニフォームの色から「赤と黒の男たち les Rouge et Noir」のニックネームがついています。この２色は12世紀以来トゥールーズの町の行政を担当した参事会執政官Capitoulsが儀式の際に着用した衣装の色でした。今日では多くのフランス人の中で、赤と黒は貴族の色、正義の色と認識されています。クラブの初代会長エルネスト・ワロンはこうした町の歴史とともに法学部教授という正義を司る自らの職業にも想いを馳せてチームカラーに選んだのでした。



キャピトル広場 © Rémi Deligeon



スタッド・トゥールーザンの試合 © Rémi Deligeon

楕円球の誕生

楕円球を使うこのスポーツは当初「フットボール・ラグビー」と呼ばれ、バラ色の街トゥールーズ（建物に使われているレンガの色から、トゥールーズはこう呼ばれます）では19世紀末から高校生たちが校庭でプレーしていました。その後、大学やグランゼコールの学生たちにも広がり、1903年に15人制ラグビーの3つの学生クラブを統合して「スタッド・トゥールーザンStade Toulousain」が誕生しました。当時の試合はガロンヌ川左岸、街の中心部に位置するプレリー・デ・フィルトル Prairie des filtres公園で行われていましたが、2023年のラグビーワールドカップでは、まさにここがファン・ゾーンに！　お祭り騒ぎの場所になります。



© Rugby World Cup France 2023



トゥールーズ・オランピック・トレーズのロゴ © Rémi Deligeon

地元が誇るラグビークラブ

一般的にラグビーの花形といえば15人制ですが、ここトゥールーズではあらゆる形式のラグビーが行われており、とくに1937年以来続く13人制ラグビーのチーム「トゥールーズ・オランピック・トレーズ Toulouse Olympique XIII」が有名です。彼らは15人制の選手とエルネスト・ワロン スタジアムを共有し、スーパーリーグSuper Leagueでヨーロッパの強豪クラブと対戦しています。

エルネスト・ワロン・スタジアム

15人制ラグビーの地元の名門クラブ「スタッド・トゥールーザン」が誕生したのは1903年。そして正式な創立は1907年、県庁にクラブ規約を届け出た年です。クラブの初代会長はトゥールーズ大学法学部長のエルネスト・ワロン Ernest Wallon。町の名士たちが結成した「スタッド・トゥールーザン友の会 les Amis du Stade Toulousain」の後押しを得て、ワロン会長は市内ポン・ジュモー地区Ponts-Jumeauxに土地を購入し、5000人収容のスタジアム建設とインフラ整備を行いました。1921年にはシャルル・オブリ会長 Charles Aubryのもと、スタジアムは近代的に改築され、同年に亡くなった初代会長へのオマージュとして「エルネスト・ワロン」と命名されました。ポン･ジュモー地区のスタジアムは1980年にトゥールーズ都市再整備工事のため取り壊され、そこから数百メートル離れたセット・ドニエ地区 Sept Deniersに移転しました。新しい10ヘクタールの敷地に造られた「エルネスト・ワロン」スタジアムはエントランスに続く前庭、ラグビー選手養成センターの他に3つの付属グラウンドを有し、プロ、アマ、養成センター生がそれぞれ使用しています。
今日セット・ドニエ地区のスタジアムでは約１万９千人の観衆がスタッド・トゥールーザンの試合を観戦できます。いくつもの施設拡張プロジェクトが折衝に入っており、ラグビーの歴史、ラグビーへの愛を皆で共有するための博物館「シテ・デ・ラグビー Cité des rugbys」創設も検討されています。

プレス資料

一年中が ラグビーシーズンの街

L'expérience rugby à Toulouse se vit toute l'année !



夕暮れのトゥールーズの街角
© Rémi Deligeon

エルネスト・ワロン スタジアム 見学コース

トゥールーズでラグビーの殿堂の舞台裏を見たい、伝説の選手たちの足跡をたどりたい、という人には「スタジアムを訪ねてみよう Visitez le stade」という見学コースがあり、フランス有名企業見学のスペシャリスト、マナトゥールManatourがスタジアムの門戸を開いてくれます。
www.manatour.fr/stadetoulousain

好奇心いっぱいのラグビーファンにはエルネスト・ワロン スタジアムのすべてが見学できるツアーがお勧めです。遊び心あふれるコースをたどって、クラブ創立の起源を知り、典型的なトレーニングを体験できます。参加者はチームの一員になった気分で、フランス一、欧州一のタイトルホルダーであるスタッド・トゥールーザンの秘密の全てに迫ります。



エルネスト・ワロン・スタジアムの
ロッカールーム © Rémi Deligeon



スタッド・トゥールーザンのリーグ優勝を
キャピトル広場で祝うトゥールーズ市民

ラグビーイベント

トゥールーズにいると、ラグビーは一年中身近に感じられます。大きな国際試合、地元のトーナメント戦、フェスティバルなどが常に開催されています。7人制から15人制までトゥールーズはいつもラグビー熱で盛り上がっています。

毎年6月に開催されるトゥールーズラグビーフェスティバル Toulouse Rugby Festivalでは市の中心にあるキャピトール広場 place du Capitoleが巨大なラグビー場に変身します。そこではラグビーに熱を上Toulouse Rugby Festivalげる人も未経験者もアマチュアもみな仲良くさまざまな体験イベントやアトラクション、トーナメント戦に参加できるのです。



トゥールーズラグビーフェスティバル

ワールドラグビーセブンズシリーズ World Rugby Sevens Seriesは7人制ラグビーの国際トーナメントシリーズで世界15カ国のチームが対戦します。世界中を転戦しながらシーズンチャンピオンを決める国際サーキットで、ドバイ、香港、シンガポールといった世界の大都市を経た後、2023年5月12日～14日、すべてのラグビーの都であるトゥールーズでフランス大会が開催されます。


ウォーターラグビーフェスティバル
© Rémi Deligeon

ウォーター―ラグビーフェスティバル Le WateRugby Festivalはバラ色の町トゥールーズがラグビーに捧げる最もユニークなイベントと言って良いでしょう。ガロンヌ川のポンヌフ橋Pont-Neufからラ・グラーヴ病院のドーム屋根Dôme de la Graveまでの区間を、世界遺産に登録されたオテル・デューHôtel-Dieuを背景にしながら、9月の週末に、水上ラグビー場が設置されます。ルールは簡単。トライを決めるにはただ･･･水に飛び込むだけ！



© Rémi Deligeon

トゥールーズ流第3ハーフ

ここトゥールーズでは、ラグビーは常に交歓の楽しみと共にあります。試合後、敵味方関係なく盛り上がる飲み会のことをトワジエム・ミッタン、第３ハーフ（troisième mi-temps ）と言います。

エルネスト・ワロンスタジアムの界隈から近くの居酒屋、広場、また試合の中継が見られるバーやレストランなど、トゥールーズの街中では一年中、サポーターの歌声や彼らが鳴らす楽器が響き渡っています。



ビールを飲みながらペダルをこいで進む「ビアバイク」
© Rémi Deligeon

試合観戦ができる店

- パブオクロック Pub O’Clock
21 Boulevard de Strasbourg, 31000 Toulouse
- メルティングポット Melting Pot
26 Bd de Strasbourg, 31000 Toulouse
- ルースター＆ビア Rooster & Beer
100 Rue Riquet 31000 Toulouse
- ザ・ダニュ The Danu
9 Rue du pont Guilhemery, 31000 Toulouse
- ル・セヴンティーズ Le Seventies
42 Port St Etienne, 31000 Toulouse
- ジョルジュ＆ドラゴン George & Dragon
1 place du Peyrou,31000 Toulouse
- ロンドンタウン London Town
14 rue de Prêtres, 31000 Toulouse
- ブラックライオン Black lion
4 allée Paul-Feuga, 31009 Toulouse
- ル･ルージュ･エ･ノワール Le Rouge et Noir
3 Rue du Pont Saint-Pierre, 31300
- ル・サン・デ・サン Le Saint des seins
5 place Saint-Pierre, 31000 Toulouse
- ル・バール・バスク Le Bar basque
7 place Saint-Pierre, 31000 Toulouse



© Rémi Deligeon

ラグビー選手の経営店

トゥールーズではラグビーとグルメはとても相性がいいという証しでしょうか、多くの現役選手やＯＢがこの２つを同時に楽しめる店に投資しています。ここにその例をいくつか挙げておきます。

ザ・ダニュ The Danu
トゥールーズ最大のスポーツバー。今は英国資本ですが、開店時の店名は「ド・ダニュDe Danu」。著名なアイルランド人のラグビー選手で元スタッド･トゥールーザンのプロップ、トレヴァー・ブレナン・ブレナン Trevor Brennanが開業した店でした。
9 Rue du Pont Guilheméry, 31000 Toulouse,
www.thedanu.fr

メゾン・グッド Maison Good
グッドフード、グッドドリンク、グッドミュージック！これがメゾン・グッドのモットーです。創立したのはスタッド・トゥールーザンのロマン・ンタマックRomain Ntamack選手とその友人たち。店内は和気あいあいとした雰囲気で、「南仏産Sud de France」の認証を受けた食材が使われた料理を友人同士でシェアできます。この地元オクシタニー産を認証する制度のお陰で、消費者は極上の料理と飲み物を通して、生産者と結びつくことができます。
30 Bd Maréchal Leclerc, 31000 Toulouse,
www.maisongoodtoulouse.com

ル・トミーズ・シティ・ダイナー
Le Tommy’s city Diner
パトリック・スーラ Patrick Soulaは90年代に選手としてスタッド･トゥールーザンの歴史に名を残しただけでなく、フランスで最初のダイナーdinersを数件オープンしたことでレストラン業界史にも名を残しました。これからはトミーズダイナー « Tommy’s Diner »に行けばトゥールーズのど真ん中で、またフランス各地で本国と同様のアメリカ文化とグルメを堪能できます。
52 Bd Lazare Carnot, 31000 Toulouse,
www.tommys-cafe.com

ラ・ペタンク・デ・コパン
La pétanque des copains
６月から９月にかけてバラ色の町トゥールーズは多くのガンゲットで賑わいます。ガンゲットとは期間限定でオープンする野外レストランで、トゥールーズ流のライフスタイル、グルメ、そして共に喜びを分かち合う南仏マインドを味わうのに完璧な場所といえるでしょう。そうしたガンゲットのひとつ「ラ・ペタンク・デ・コパン」は植物園の周辺で営業しています。斬新なアイデアを出したのはリュカ・セスタンLucas Cestan、ジュール・ボーパンJules Baupinの他、スタッド・トゥールーザンの選手シリル・バイユCyril Baille とアントワーヌ･デュポンAntoine Dupontです。
Esplanade Alain-Savary, 31000 Toulouse,
www.instagram.com/la_petanque_des_copains



スタッド・トゥールーザンの
オフィシャルショップ © Rémi Deligeon

ショッピング

ラグビーの地トゥールーズはまた、ラグビーファンにとってマストなブランドが誕生し、本社を構えている地でもあります。それはセルジュ・ブランコ Serge Blanco。トゥールーズ在住のラグビーファン、ジャン＝ジャック・ロビー Jean-Jacques Laubyはプレタポルテ製造に転業していましたが、あるとき世界的な名選手セルジュ・ブランコにその名をラグビーウェアのブランドに冠することを提案しました。現在このブランドは男性用衣類とアクセサリーのすべての商品を製造しており、スタッド・トゥールーザンとの独占提携契約調印により、2024年まで同ブランドが公式ユニフォームとして使用されます。
Serge Blanco, 8 Pl. du Président Thomas Wilson, 31000 Toulouse

スタッド･トゥールーザンは市民の心の中にあるばかりか、町の中心にもあります！1997年以来オフィシャルショップはエルネスト・ワロンスタジアムの横、また町の中心部で最も人通りの多い商店街アルザス・ロレーヌ通りrue Alsace-Lorraineにそのカラーを誇らしげに掲げています。トゥールーズ・ブラニャック空港aéroport Toulouse-Blagnac構内のショップエリアにも最近スタッド･トゥールーザンの専門ショップがオープンしました。トゥールーズのお土産を買いたい人にはお勧めです！
Boutique du Stade Toulousain, 73 Rue d'Alsace Lorraine, 31100 Toulouse
Boutique Ernest Wallon, 114 rue des Troènes, 31200 Toulouse


旧市街のシンボル
サン・セルナン・バジリカ大聖堂の鐘楼
© Rémi Deligeon

トゥールーズ豆知識

スタッド・トゥールーザンは、「ル・スタッド Le Stade」としてドキュメンタリー映画に取り上げられ、それがフランス各地で上映されたフランス唯一のラグビークラブとなりました。2020/2021年のシーズン全般を通してマティウ・ヴォレールMatthieu Vollaireとエリック・アヌゾEric Hannezoが「赤と黒の男たち」に密着。欧州とフランスのダブルチャンピオンに輝いた記念すべき年をカメラに納めました。映画の第1部は2022年4月に封切られ、第2部もここ数年以内に続く予定です。



映画ポスター（公式サイトより） www.lestade.film

プレス資料

トゥールーズとラグビーワールドカップ2023年大会

Toulouse et La Coupe du Monde de Rugby France 2023



スタッド・トゥールーザンの試合
© Rémi Deligeon

ヒューマンサイズの町トゥールーズ

試合会場はスタジアム・ド・トゥールーズ

ラグビーワールドカップの全試合は「プティ・ウェンブリー petit Wembley」の愛称を持つスタジアム・ド・トゥールーズ Stadium de Toulouseで行われます。ガロンヌ川の中洲ラミエ島île du Ramierに位置し、町の中心部から公共の交通機関やシャトルバスでアクセスも簡単。収容人数3万3500人のスタジアムです。

ここではさまざまなスポーツの国際試合が開催され、1998年のサッカーワールドカップ、1999年と2007年の15人制ラグビーワールドカップの試合会場にもなっており、この時から日本チームの存在は一目置かれていました。

ラグビーワールドカップ2023では遊歩道や徒歩での移動が優遇されます。ファンゾーンはプレリー・デ・フィルトル Prairie des filtresに置かれ、数百メートル先のスタジアムまでは歩行者専用道を通ってアクセスできます。

ラグビーの殿堂　エルネスト・ワロンが日本代表のベースキャンプに

トゥールーズの西北部、セット・ドニエ Sept-Deniers 地区にあるエルネスト・ワロンスタジアム stade Ernest-Wallon は「赤と黒の男たち」のニックネームで知られるスタッド・トゥールーザン、および13人制ラグビーのトゥールーズ・オランピック・トレーズ TO XIIIのホームグラウンドです。１万９千席を有する「ラグビーの殿堂」は各種の国際大会で欧州の強豪クラブを迎えており、次回のラグビーワールドカップでは日本代表チーム、ブレイブ･ブロッサムズ Brave Blossomsのベースキャンプ地に選ばれています。

日本代表チームは９月２日からトゥールーズで合宿を開始し、４週間半にわたってスタッド･トゥールーザンの施設をフル活用して練習に励む予定です。彼らは予選プール４試合のうち２試合を隣りのスタジアム・ド・トゥールーズで行います。

地元の総力を挙げ
日本からのサポーター受入れを準備

「トゥールーズ流」のおもてなしとライフスタイルにより、2016年の欧州サッカー選手権では、各国のサポーター協会から「ビジターの受け入れが最もよかった町」に選ばれました。もちろん2023年のラグビーワールドカップでも同じ快挙を果たすことが目標です。

ラグビーワールドカップ2023開催地の中で最も魅力的な観光デスティネーションとなるために、また日本を含む世界各国からのサポーターの期待に応えるために、トゥールーズの多くの関係者がワールドカップサポーター接遇憲章 2023 Charte d'accueil du supporter2023に署名しています。ここでは以下４項目の重要事項が定められ、署名した全ての企業団体はトゥールーズの真のアンバサダーとなることが求められます。

- 機運醸成：町中をラグビーの雰囲気で盛り上げる。
- 来訪者の受入れ体制：大会期間中を通して、来訪者の期待やニーズに合わせた高品質なサービスを提供する。日本語によるサーポーター向けガイドを用意し、日本からのファンにとって有益な情報を提供する。
- 研修：トゥールーズ都市圏集客局 Agence d'attractivité de Toulouse Métropole（観光局・経済局・会議局の統合した機関）等地元の公的機関は、観光関連施設スタッフが外国人サポーターを迎えるために、外国の文化や基本的な言語表現（日本語の幾つかな簡単な言葉を含む）を学ぶことを支援する。
- 企業の社会的責任：ワールドカップを倫理に基づくイベントとし、地元産品の購入を優先し、就業機会を作り、社会的結束に重きを置く。



コンパン・カファレリ公園内のピエール・ボディ日本庭園 © na_toulouse

プレス資料

トゥールーズに来たらしたいこと

Les incontournables à Toulouse



ヴィクトール・ユーゴー市場
© HapTag

親しみやすいトゥールーズの食

トゥールーズ地方で優しい暮らしを満喫する、それはゆったりマイペースで時を過ごすことです！賑やかな通りをぶらぶら歩いてショッピング、あるいはカフェのテラスでひと休み。そこで感じる雰囲気は、自然体で人懐こい南国の人々の気質そのもの。トゥールーズは楽しく暮らせる町、そして来る人を暖かく迎える町です。おもてなしはしばしば地元の産品を満載した食卓を囲んで。フォアグラ、マグレ・ド・カナールmagret de canard（鴨のささみ）、カスレcassoulet（肉と豆のシチュー）、トゥールーズのソーセージ、ワイン（フロントンFronton、ガイヤックGaillac、アルマニャックArmagnac）、チーズ（ロックフォールRoquefort、トム・デ・ピレネーTomme des Pyrénées）、スミレの花の砂糖漬け･･･。土地のおいしいものに出会いたかったらトゥールーズ市内各地のマルシェを歩いてみるのが一番です。



トゥールーズの名物ソーセージ
© HapTag

どこのマルシェも独自のスタイルがあり常連客がいます。ヴィクトル・ユーゴVictor-Hugoはトゥールーズの胃袋、そして80の店舗が入るフランス最大の屋内マルシェです。レ・カルムles Carmesは歴史地区の中心に、サン・シプリアンSaint-Cyprienはガロンヌ川左岸にあって、いずれもぜひ訪れたいマルシェ。露天のマルシェは町のさまざまな界隈に多数あります。ル・クリスタルLe Cristalは大通り沿い、日曜に開くサン・トーバンSaint-Aubinは同じ名前の広場に、あるいはル・サランle Salinなど。これらは露天マルシェのほんの一例に過ぎません。



郷土料理のカスレ
© D.Viet - CRTL Occitanie

ミシュランの星付きレストランからモダンなブラッスリー、はたまた地方色豊かな店など、トゥールーズでおいしい店を見つけようと思ったら、ただもう選択に迷うばかり！そしてワイン好きならトゥールーズはフランス最大のワイン生産量を誇るオクシタニー地方Occitanieの中心地。AOP（原産地呼称保護） やIGP（地理的表示保護）で品質が保証されたワインです。トゥールーズからフロントンFrontonのブドウ畑まではほんの30分。試飲のできるワイナリーがいくつもあります。



キャピトル広場 © Rémi Deligeon

驚くべき歴史遺産

トゥールーズを訪ねたら、その歴史遺産の豊富なことに驚かされることでしょう。パステル（16世紀に栽培された青染料植物）がもたらした富で町が栄えた頃の邸宅群、レンガと石の装飾が見事な宗教建築、壮麗な歴史的建造物や工業施設を改築した建物内部のミュージアムには充実したコレクションの数々。本当に心ときめく発見がいっぱいです！

トゥールーズをバラ色の町というのはバラ色のレンガを多用した独特の建築群ゆえですが、この町には３つのユネスコ世界遺産があります。欧州最大のロマネスク様式のサン・セルナン聖堂 Basilique Saint-Sernin、旧施療院でサンチャゴ・デ・コンポステラ Saint-Jacques de Compostelleへの巡礼路の宿泊施設だったオテル・デュー・サン・ジャック Hôtel-Dieu Saint-Jacques、そしてトゥールーズと地中海を結ぶ名高いミディ運河 canal du Midiです。


ジャコバン修道院 © Rémi Deligeon


© Rémi Deligeon


© Arnaud Späni

トゥールーズ豆知識


© Rémi Deligeon

サン・セルナン聖堂のチャペルの床にはSTのモノグラムが見られます。フランス革命まではここに聖トマス・アクイナス Saint Thomas d'Aquinの聖遺物が保管されていたためです。このSTの2文字はスタッド・トゥールーザンのロゴのデザイナーにヒントを与えたのでしょう。ロゴマークは大聖堂内のモノグラムによく似ています！



航空郵便事業の黎明期を学べる博物館　ランヴォル・デ・ピオニエ © Rémi Deligeon

活気あふれるハイテクの町

トゥールーズは19世紀末から多くの野心的な技術革新を目撃して来ました。今日ではヨーロッパの航空宇宙産業の中心地となっています。それゆえこの分野における見どころも豊富です。

トゥールーズで民間航空業の世界がどのように始まったのか知りたければ、歴史地区にある「ランヴォル・デ・ピオニエ（先駆者たちの飛翔）Envol des pionniers」博物館へ。ジャン・メルモーズ Jean Mermozやアントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリAntoine de Saint-Exupéryなど最初の飛行士たちが飛び立ったのはここトゥールーズからでした。「星の王子さま」の作者で知られるサン＝テグジュペリはトゥールーズゆかりの人として忘れてはなりません。二大陸間を往復する以外の殆どの生活をここで送っていたのですから。大作家の日常を知りたいのならば、ホテル「グラン・バルコン Grand Balcon」へ。ここはかつてアエロポスタル社のパイロットが定宿でした。サン・テグジュペリが暮らした部屋も残され、泊まることができます。

熱心な航空ファンならエアバスAirbusの工場見学もお勧めです。英語の解説付き見学コースが2種あります。工場の向い側にはアエロスコピアAeroscopia博物館があり、コンコルドConcordeやA380などの30機を越える伝説の航空機が展示されているほか、ボランティアが修復した古い機体（飛行機からヘリコプターまで）の見事な技術を見ることもできます。

トゥールーズ豆知識

1994年10月6日、当時の昭仁・美智子天皇皇后両陛下はフランス公式訪問の際、トゥールーズへお立ち寄りになられました。日本側、トゥールーズ側とも最重要級の関係者が随行するなか、アエロスパシアル社（現エアバス）を訪問されました。



シテ・ド・レスパス © Arnaud Späni

さらに高みに登りたい方は、宇宙博物館「シテ・ド・レスパスCité de l'espace」へ。宇宙の神秘と宇宙飛行士の生活を知ることができます。4 000 m² にわたる展示スペース、4ヘクタールの庭園、IMAX完備の巨大スクリーンの映画館、プラネタリウムを備えた博物館で、宇宙探検へ出発しましょう。ガーガリンから日本人飛行士の星出彰彦さんまで、あらゆる宇宙飛行士の足跡が展示されています。星出さんが2021年4月に宇宙飛行中、同僚のフランス人飛行士トマ・ペスケThomas Pesquet とラグビーボールをパスし合った映像は印象的でした。

トゥールーズ豆知識

シテ・ド・レスパスと、ランヴォル・デ・ピオニエの両博物館では、2022年7月、かかみがはら航空宇宙博物館のある岐阜県の訪問団を受入れました。今後の新たな協力体制に期待が持たれます。



期間限定で営業されるガロンヌ川の観覧車 © Rémi Deligeon

トゥールーズ、水と自然の街

トゥールーズはまた、緑と水の快適なコンビネーションを提供してくれる町でもあります。徒歩でも自転車でも、あるいは水上をボートででも楽しく散策できます。世界遺産のミディ運河や多くの公園･庭園などでは自然を満喫でき、休息、散歩、スポーツには理想的なスペースになっています



昼も夜も、どんな時でも、ガロンヌ川のほとりを必ず歩くようにしてください。この大きな川は、町の魂です。川は町の中心部を横切り、川岸はトゥールズの人々の生活の中心になっています。10月までは水上アクティビティや期間限定のガンゲット（パブ）が楽しめ、訪れる人々をずっと記憶に残るような、心安らぐひと時にいざないます



トゥールーズ市民の憩いの場所であるガロンヌ川

https://youtu.be/DZ0sean35hY



グラン・ロン公園 © Rémi Deligeon



ガロンヌ川岸で夏だけ営業するレストラン「チュルビーヌ」© Rémi Deligeon

ガロンヌ川の川岸で憩う市民 © Rémi Deligeon



「偉大なる風景Grands Sites」の指定を受けたアルビの町 © CRT Occitanie

トゥールーズを拠点に魅力あふれる地方巡り

地理的にいえばトゥールーズはオクシタニー地方をめぐる出発地として理想的な位置にあります。オクシタニーは「フランスの最も美しい村Plus Beaux Villages de France」に認定された絵のような村々や「偉大なる風景Grands Sites」の指定を受けた町、アルビAlbi、ルルドLourdes、サン・シール・ラ・ポピーSaint-Cirq-Lapopie、カルカッソンヌCarcassonne・・・などが点在する美しい地方です。

トゥールーズを拠点に、この地方の見事な建築、美しい自然、ロマネスクや中世の珠玉の芸術、偉大なスピリチュアルの砦などを訪ねてみませんか。

オクシタニー地方はさらに、ラグビー天国でもあります。トゥールーズへの来訪をきっかけに、街ではもちろん田舎の方でも、ラグビーの試合がどこでも行われています。試合観戦で盛り上がり、オクシタニーらしさを堪能してください。







（上）ル・ピック・デュ・ミディ © Sylvio EGEA SKI RANDO MAGAZINE、（下左）アルビ全景 © CRT Occitanie、（下右）ブドウ畑に囲まれたカルカッソンヌの城壁 © CRT Occitanie

トゥールーズ豆知識

1971年から1983年までトゥールーズ市長を務めたピエール・ボディは大の日本びいきでした。彼は町のど真ん中に、後にヨーロッパでもっとも名高い日本庭園となる庭園を造らせたのです！　瞑想と休息へとまさに誘いかけてくるようなこの庭園は、今も京都に残る14〜15世紀の日本庭園の集大成とも言うべきもので、典型的な装飾的要素で飾られた石や植物、水の世界の表現など、特徴的な要素がすべて取り入れられています。

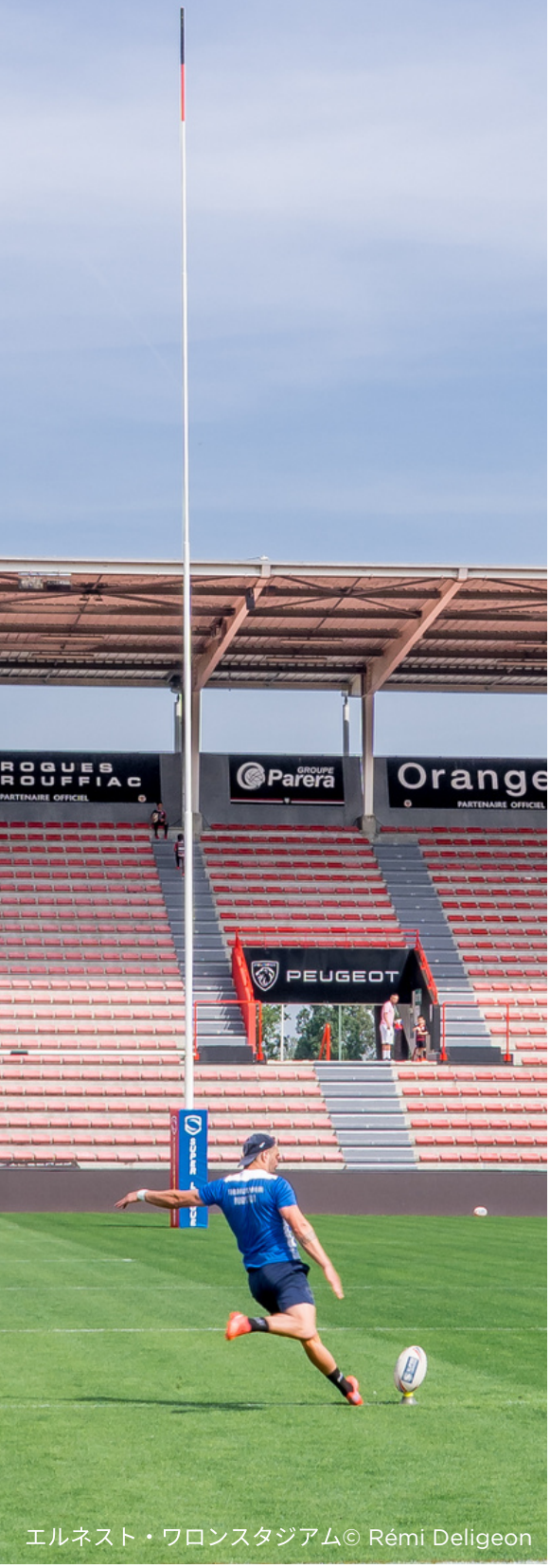


コンパン・カファレリ公園内のピエール・ボディ日本庭園 © Rémi Deligeon

プレス資料

ラグビー選手が語る トゥールーズの魅力

Ils parlent de nous



エルネスト・ワロンスタジアム© Rémi Deligeon

大野均さん



トゥールーズは街中にスタッド・トゥールーザンの旗が貼られ、街をあげて地元チームを応援している様子がすぐわかります。
このトゥールーズで育った子供たちが、トゥールーズで活躍し、フランス代表まで登っていくのを見ているからこそ、チームは地元の人に愛され、街はフランスラグビーの中心になっているのだと思います。

この街に来て、美しい街並みとおいしい食べ物、素晴らしいホスピタリティを肌で感じました。来年のワールドカップでこの地に来る日本のファンの方もきっと同じように感じることでしょう。皆さんに直接スタジアムに来て、その声援で日本代表の背中を押してほしいですね。

日野剛志さん



トゥールーズはスペインの香りがする街並み、都会すぎない程よいサイズ感、食べ物の美味しさ、人の温かさから、遠征で来るたびにいい思い出になった場所です。
ラグビー観戦の後は、街の中心にあるキャピトル広場で、横にいるファンや知らない人同士で盛り上がれるような、楽しい雰囲気の街です。

ワールドカップ観戦で来られる方にお勧めしたいトゥールーズの過ごし方は、キャピトル広場のカフェのオープンテラスでのんびりしたり、ガロンヌ川沿いを散策すること。食べ物なら、トゥールーズソーセージという地元のすごく大きなソーセージがとても美味しく、鴨の産地ならではのコンフィやフォアグラなどもお勧めです。

プレス資料



トゥールーズ観光局があるキャピトル広場の鐘楼
© Rémi Deligeon - Agence d'Attractivité Toulouse

日本語でどうぞ ♡

Nous vous accueillons en japonais !

トゥールーズ観光局では
日本語対応もお任せください。

2名の日本語ガイド



Nobuko Nozaki



Kazuyo Belloc

日本語パンフレット

フレンドリーガイド



サポーターズガイド



ダウンロードはこちらから

https://www.toulouse-visit.com/rugby-world-cup-2023-toulouse



サン・セルナン・バジリカ大聖堂の鐘楼
© Rémi Deligeon

広報担当



Marine Esch

Communication/PR officer
Tel. +33 5 34 25 58 21
Mobile +33 6 28 10 84 91
m.esch@toulouseatout.com
Agence d'Attractivité de Toulouse Métropole,
Office de tourisme
2 rue d'Alsace-Lorraine, 31000 TOULOUSE
FRANCE
www.toulouse-visit.com/land-rugby

当資料内に画像の一部を
メディア向けに配布しております。
ご利用の際はクレジット表記をお願いいたします。
bit.ly/3Pn3Ekkj

プレス資料　「トゥールーズ、ラグビーの地」2022年9月発行

表紙写真　© Rugby World Cup France 2023